歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和８年 11 月 26 日

独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所長 北村 達也
（ 公 印 省 略 ）

１．目　的

この歩掛参考見積の募集は、福岡導水管理事業で予定している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

２．参考見積書提出の資格

（１）水資源機構における令和７・８年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。

（２）営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。

（３）水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

３．参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

（１）参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出して下さい。件名は、沈砂池土砂撤去工（仮称）としてください。

なお、参考見積書の様式は問いません。

（２）提出期間：令和８年 12 月３日(木) から令和８年 12 月７日(月) まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後５時まで

（３）提出先

独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所長 北村 達也 宛

【担当】経理課

〒830-0071　福岡県久留米市安武町武島 1063-2

TEL　0942-26-4551　　FAX　0942-26-2031

E-mail： jwa_chikugo_karyu@water.go.jp

（４）提出方法

書面は持参、郵送、FAX 又はメール（いずれも社印があること）により提出するものとします。(社印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先の明記により省略可能)

４．参考見積内容

（１）基本条件・見積項目

・見積条件は別紙-1 の内容とし、参考見積書様式は別紙-2 を参考にしてください。

・施工範囲は別紙-3 参考図を参考にして下さい。

（２）工事費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記作業項目、作業内容及び作業数量を実施する為に必要な作業員、機械運転の歩掛、資機材単価等とします。

（３）作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和８年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

（４）見積有効期限

・見積有効期限は、令和９年３月 31 日までとします。

５．募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

（１）提出期間：令和８年 11 月 27 日(金) から令和８年 12 月１日(火) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後５時まで

（２）提出場所：３．（３）に同じ。

（３）提出方法：３．（４）に同じ。

６．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

（１）閲覧期間：令和８年 12 月３日(木) から令和８年 12 月７日(月) まで

（２）閲覧方法：ホームページに掲載します。

７．参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

８．ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

９．その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

以上

別紙－１

参考見積条件
（沈砂池土砂撤去工（仮称））

１．工事目的

沈砂池土砂撤去工（仮称）は、福岡導水施設の沈砂池内に搬入した掘削機械等により堆積した土砂（約 200m3）を撤去し、敷地内のストックヤードへ運搬するとともに、沈砂池壁面、床版及びゲート設備等の清掃を行うものである。

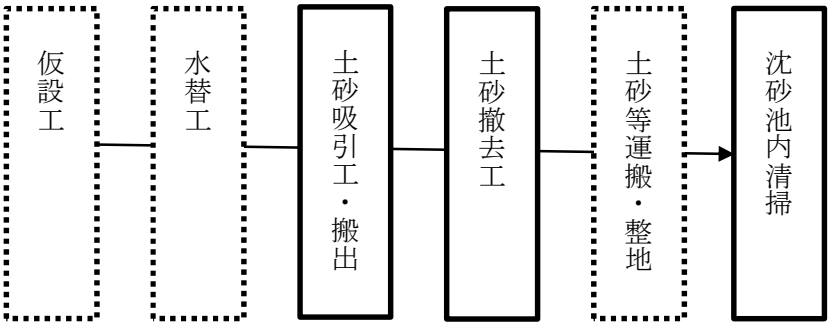
２．工事場所

福岡県久留米市高野地内（福岡導水管理所）

３．作業期間

10 月～翌年 1 月頃のうち、概ね 2 週間程度を想定している。

４．施工内容



※見積対象範囲は実線部とする。

1. 沈砂池は 2 池に分かれており、片側ずつ施工するものであるが、手順及び条件等は同様であるため、片側（1 池）分のみを見積対象とする。沈砂池の深さは約 10m とする。
2. 作業は沈砂池内の滞水を反対側の沈砂池に排水した後に行うものとし、沈砂池内に掘削機械を搬入することを想定している。なお、搬入に先行して重機を安全に吊り降ろせる範囲の土砂（約 50m3）を吸引車にて撤去するものとする。
3. 沈砂池内の堆積土砂（約 200m3）を地上へ搬出する際は、底開型バケット等を用いて運搬用車両に積載するものとする。
4. 掘削機械のバケットが入らない狭小部や壁周辺及び底版から 10cm 程度の堆砂については、人力により掘削・集積するものとし、それ以外の場所はゴムクローラー装着のバックホウを利用する等、既設構造物への損傷を防止して作業を行うものとする。
5. 堆積土砂は場内を経由し福岡導水揚水機場西側にある搬出土砂置き場へ搬出するものとし、運搬距離 0.2km 以下とする。
6. 土砂撤去後は、高圧洗浄機等を使用して人力により壁面、床版及びゲート設備等に付着した泥土を洗浄するものとし、泥水は吸引車にて撤去（約 10m3）し、通水再開後の汚濁防止に努めるものとする。

以上

別紙-2

参考見積書作成例

件名：沈砂池土砂撤去（仮称）

・参考見積書作成例を参考に、必要に応じて適宜加筆修正して下さい。
・2次単価表など、必要な階層を追加しても構いません。
・機械器具等は、規格欄の記載をお願いいたします。

(1)土砂吸引工

100m3当り

名称	規格	数量	数量	単価	備考
労務費					
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
機械経費					
汚泥吸排車運転	積載質量9.5t積	日			2次単価表
諸雑費	○○費の	%			労務費・機械経費等に対する割合を記入してください

【2次単価表】汚泥吸排車運転

1日当り

名称	規格	数量	数量	単価	備考
運転手（一般）		人			
軽油	1.2号	L			
汚泥吸排車損料	積載質量9.5t積	時間			

(2)土砂撤去工

100m3当り

名称	規格	数量	数量	単価	備考
労務費					
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
機械経費					
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転	[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型]25t吊	日			2次単価表
バックホウ運転	山積0.28m3(平積0.2m3)	日			2次単価表
高圧洗浄機運転	吐出量30.1L/min 圧力4.9Mpa	日			2次単価表
底開型バケット	2.0m3	日			
諸雑費	○○費の	%			労務費・機械経費等に対する割合を記入してください

【2次単価表】ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転

1日当り

名称	規格	数量	数量	単価	備考
運転手(一般)		人			
軽油	1.2号	L			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ損料	[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型]25t吊	時間			

【2次単価表】バックホウ運転

1日当り

名称	規格	数量	数量	単価	備考
運転手(一般)		人			
軽油	1.2号	L			
バックホウ損料	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間			

【2次単価表】高圧洗浄機運転

1日当り

名称	規格	数量	数量	単価	備考
運転手(一般)		人			
軽油	1.2号	L			
高圧洗浄機損料	吐出量30.1L/min 圧力4.9Mpa	時間			

1日当り

(3)沈砂池内清掃

100m3当り

名称	規格	数量	数量	単価	備考
労務費					
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
機械経費					
汚泥吸排車運転	積載質量9.5t積	日			2次単価表
諸雑費	○○費の	%			労務費・機械経費等に対する割合を記入してください

【2次単価表】汚泥吸排車運転

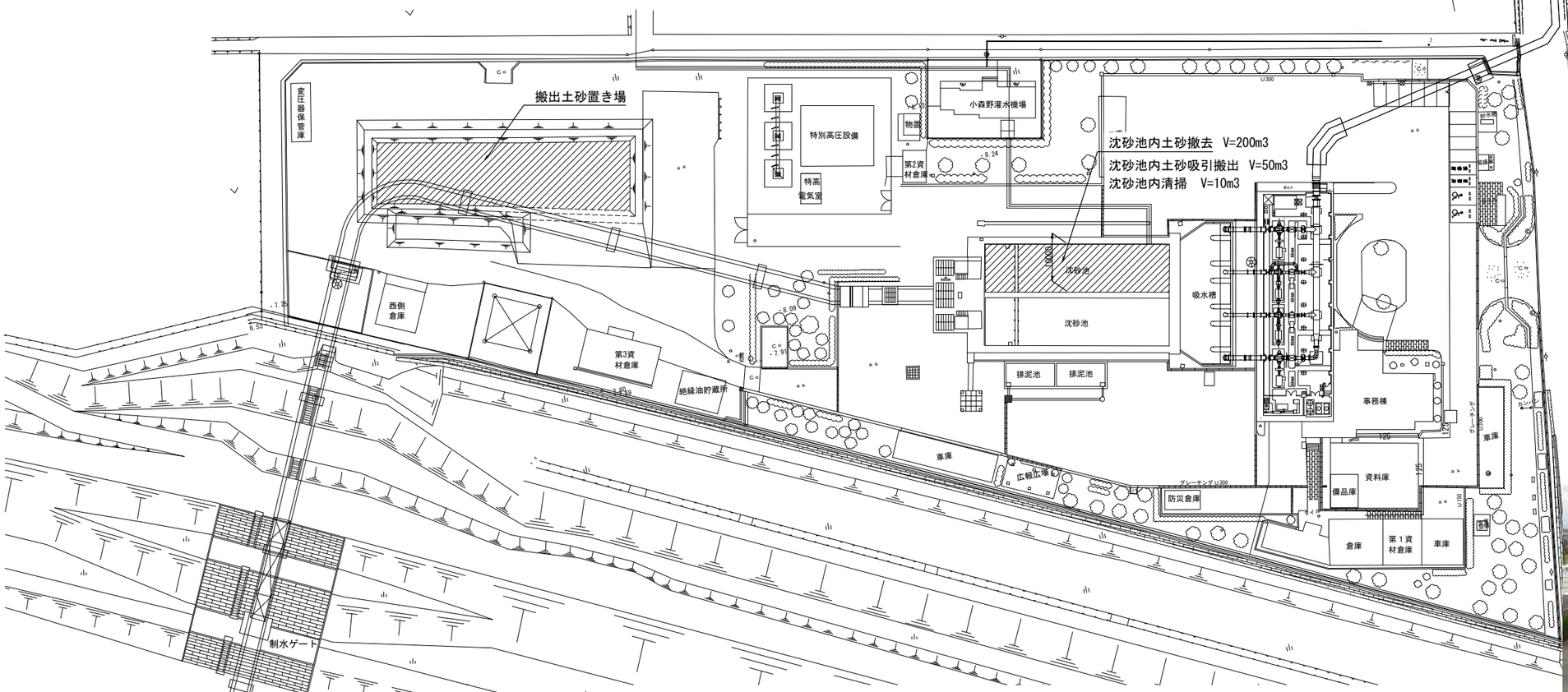
1日当り

名称	規格	数量	数量	単価	備考
運転手(一般)		人			
軽油	1.2号	L			
汚泥吸排車損料	積載質量9.5t積	時間			

別紙－３

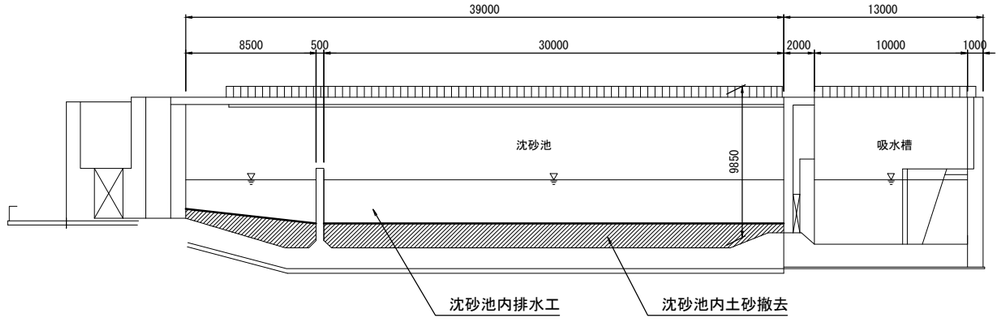
沈砂池内土砂撤去図

揚水機場平面図　S=1:500



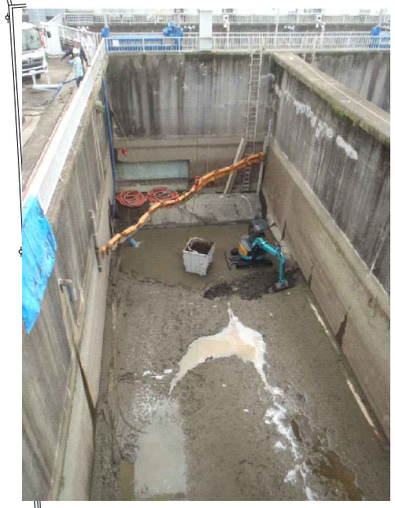
断　面　図　S=1:200

吸水槽・沈砂池



注意事項

1. 単　位
寸法の単位は、特に示さない限りmmで表す。
ただし、標高についてはmとする。







工事名	
名　称　参 考 図	縮尺：図示
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所　福岡導水管理所	